

2024年7月18日  
株式会社SVPジャパン

## SVPトレンド調査 「現代の消費者行動に関する調査分析」 ～Z世代編～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、「現代の消費者行動に関する調査分析」と題して、主要世代の消費者行動のトレンドを把握することを目的に、年2回の定点観測を実施。今回は、Z世代を対象とした調査結果をレポートにまとめた。

### ■ 調査目的

景気や物価上昇など経済的要因のみならず、戦争やCOVID-19などに代表される社会的環境の変化は、消費者の支出に大きな影響を与えており、消費者行動を多様化、複雑化させている。

一般消費者および、主要世代へのアンケート調査を通じて、現代の消費者行動を明らかにする。

### ■ 調査概要

調査時期	2024年5月
調査方法	インターネット調査
調査対象	1997-2004年生まれの男女（20歳～27歳の男女）
有効回答数	800名
調査機関	アイブリッジ株式会社

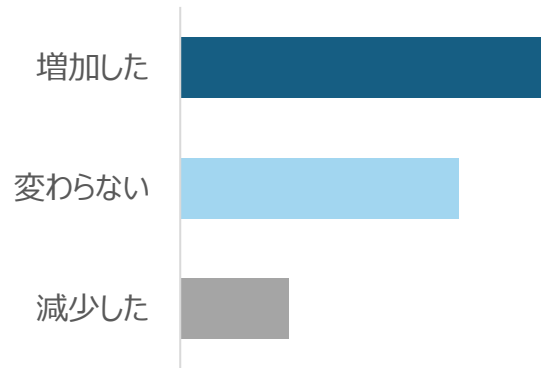
### ■ 本レポート構成

- ・調査概要
- ・調査結果サマリー
  - 消費支出の推移 ●低価格商品へのスイッチ状況 ●購買決定要因
  - 情報源と購買チャネル ●消費意向 ●考察
- ・アンケート調査結果（設問10問）

## ■ 過去1年間の消費支出の変化



### 過去1年間の消費支出の変化

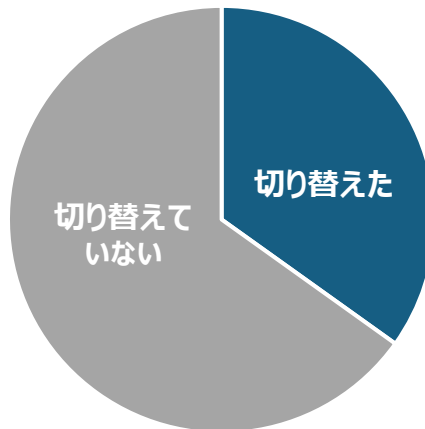


・この1年間で消費支出が増加した層は、全体の半数近くを占め、減少した層を33.8%上回る。

これは、X世代に次いで高い増加傾向である。

・インフレの影響で食料品と嗜好品の支出増加が最も高くなっているが、本調査の15カテゴリ中12で消費支出が増加している。他の世代と比較して、最も多岐にわたるカテゴリで消費が拡大しており、積極的な消費活動が確認できる。

## ■ 過去1年間での安価な商品・サービスへの切り替え



・過去1年間に安価なブランドや商品、サービスに切り替えを行った層は、Y世代の38.8%に次いで高い。

・スイッチの対象として、63.8%の食料品と32.6%の嗜好品（飲料・お酒・お菓子など）の食関連が上位だが、衣類品が29.4%で続いている。

・PC・スマホ/通信もスイッチ率が22.9%と高くなっており、衣類品のファストファッションと合わせて、格安スマホ・プランへの受容性が高いことも推察できる。

詳しくは、本編レポートに記載。※下の画像をクリックして、会員専用サイトからご覧ください。



## ■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

※本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求



お問い合わせ



## SVPトレンド調査更新スケジュール・・・毎月第3木曜日の発刊を予定

### [会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン  
代表取締役 : 橋本 雅  
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F  
設立年月日 : 1974年7月1日  
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス  
URL : <https://www.svpjapan.com/>

### [本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課  
[info@svpjapan.com](mailto:info@svpjapan.com)

※本レポートの内容、画像等の一部もしくは全部の複製、無断での転載・複写をお断りいたします。